

忠州大学校との国際合同ワークショップ報告会

名称：International Urban Design Workshop in Korea 2011

参加校：国立忠州大学校（韓国）、千葉大学、有明工業高等専門学校、熊本県立大学

概要：建築・都市計画を学ぶ日韓の学生が混成チームを編成し（参加者約40名）、近年都心部の衰退が問題視されている忠州市において、シャレットワークショップに取り組んだ。テーマは、「在来市場の活性化による都心再生計画」である。忠州市の在来市場は、韓国国内でも知られるものであるが、その有効な活用方策は見出されていない。こうした課題に対し、チューターからのレクチャーや指導を受けながら、学生が課題解決のための提案を行った。

日程：

8月10日（水）

0845 博多港国際ターミナル1階ロビーに集合

博多港国際ターミナル1000→ビートル113→1255 釜山

到着後 釜山市内の市場を見学

8月11日（木）

釜山（Busan）0630→KTX108→0821 五松（Osong）→忠州大学校バスによる送迎→忠州大学校
合同ワークショップ1日目（オープニング、チューターによる講演）

8月12日（金）

合同ワークショップ2日目（現地見学、グループワーク、夜：中間発表会）

8月13日（土）

合同ワークショップ3日目（終日グループワーク）

8月14日（日）

合同ワークショップ最終日（グループワーク、午後：最終発表会、夜：さよならパーティー）

8月15日（月）

忠州（Chungju）1110→Mugunghwa1706→1249 大田（Daejeon）1327→KTX131→1501 釜山

8月16日（火）

釜山1515→ビートル256→1810 博多港国際ターミナル

到着後、博多港国際ターミナルで解散

その他：

- ・研究室で参加した初めての海外でのワークショップ
- ・研究室での泊まりがけの行事としてはこれまでで一番長く、かつ初めての海外
- ・研究室としては、07/31（日）に天草市でワークショップ『本町中学校で遊ぼう！』を初めて実施
- ・有明高専の参加者3人は、高専（5年制＝高校3年＋大学前半2年）を卒業後1年目の学生（熊本大学・山口大学の3年次に編入学、高専専攻科へ進学）
- ・教員（辻原）も初めてのチューター（なおかつ英語、ただし講演などは日韓通訳あり）
- ・10月14（金）には、有明高専でも報告会を実施
- ・ワークショップの話自体は1年ぐらい前からだが、実際に有明高専側と合同で準備を始めたのは今年度に入ってから

参考 URL：

[1] 韓国ワークショップ 2011（『居住環境学科な日々』より）

<http://ameblo.jp/m-tsuji/theme-10041335990.html>

[2] 韓国 WS（『カト研一步一步』より）

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/479>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/481>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/482>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/483>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/484>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/485>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/486>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/487>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/516>

<http://yaplog.jp/kato-lab/archive/530>

[3] 韓国 WS（『北原研究室@urban_lab.』より）

<http://kitaharalab.blog40.fc2.com/blog-date-20110819.html>